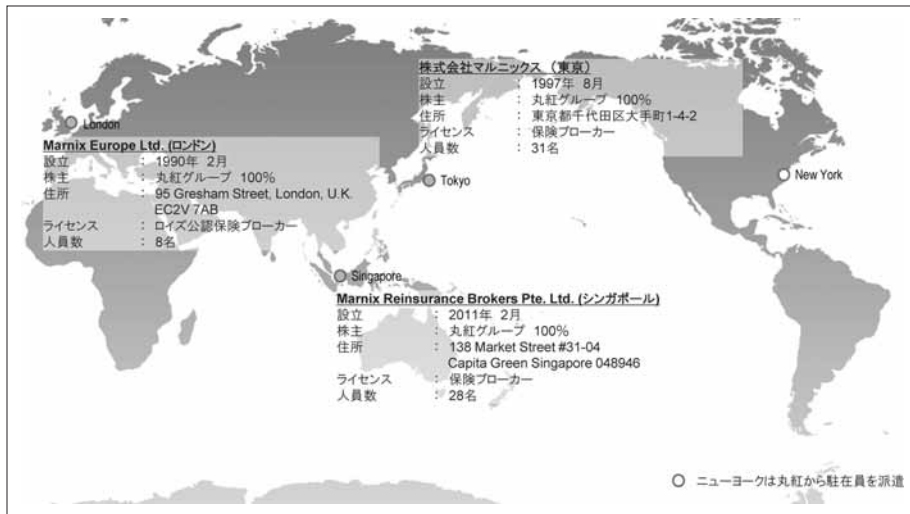


東京、ロンドン、シンガポールに拠点を有するマルニックスグループ



顧客の立場から ベストプラクティスを追求する保険仲立人

株式会社マルニックス 15

日・英・星の3拠点から

グローバル再保険マーケットへアクセス

株式会社マルニックス（te. Ltd.）と共にマルニックスグループとして1997年8月に設立された本邦で事業活動を行っている保険ブローカーの中でも最も歴史のある保険ブローカーの中の一社となります。現在は1990年にロンドンで設立されたMarnix Europe Ltd、2011年にシンガポールで設立されたMarnix Reinsurance Brokers Pte. Ltd.の3拠点体制でグローバルに事業を展開しております。

当社グループの主要事業は、国内外の財物・プロジェクトに関する（再）保険仲介、貨物海上保険仲介、リスクコンサルティングサービス等の提供をコア領域とし、キャピタル（自家保険会社）設立のコンサルティング等

も行っております。保険ブローカーは顧客の代理人として顧客の立場に立ったサービスを提供する事業体であり、保険会社の代理として保険会社の商品を仲介する保険代理店とは一線を画しています。

また、海外の再保険マーケットに直接アクセスすることができるとも本邦代理店との差別化のポイントの一つとなっております。

当社が顧客に選ばれる保険ブローカーとして評価いただいている機能としては、①保険アドバイザリー機能、②保険調達機能、③保険契約管理機能、④保険求償機能があります。

保険アドバイザリーサービスを提供するに当たっては高度の保険知識、各種契約に関する知識、そしてプロジェクト自体に関する知識とプロジェクトファイナンスに関する知識を総合的に活用していきます。商社系ブローカーとして世界各国で発電所や環境インフラ関連、マイニング等のプロジェクトファイナンス案件を手がけてきた経験から大型プロジェクトに強いブローカーとしてご評価をいただいております。

保険調達においては保険を「売る」立場ではなく、顧客側で「買う」立場でご支援をさせていただき、保険調達先は本邦大手保険会社、ロンドンのロイズマーケット、欧米、アジア、中東の再保険マーケットから幅広く調達しており、保険の設計から調達までワンストップで提供させていただき、複数の再保険会社から再保険キャパシティを調達し、プロジェクト所在各国のローカル保険会社をフロントイング保険会社として起用するというモデルにおいては関連するプレイヤーの数も多く、契約形態も複雑となることから保険契約管理も重要な機能となります。

また、保険求償は保険の設計、調達と同様に重要な機能です。保険は調達したものの、事故が起きた際に保険金の全額もしくは一部が回収できないという事態を回避すべく、当社では大手保険会社出身の経験豊富で専門性の高い社員から成るスペシャリストチームが顧客の立場で保険会社との折衝のサポートをさせていただき、当社では昨今グリーン・再生可能エネルギー分野における取組みに注力しています。再生可能エネルギー分野の中でも洋上風力発電は政府が具体的に2030年までに10GW、2040年までに30GW〜45GW相当の発電量を確保するという目標を設定し、入札を経て多くの大型プロジェクトが既にキックオフしており、今後も続々と新規プロジェクトが予定されています。

当社は入札フェーズから受注・落札フェーズを経て工事・操業フェーズまで事業者としての顧客に保険アドバイザリーサービス、具体的な保険設計および保険キャパシティの調達までワンストップでサービス提供できる体制を構築しており、本邦初の大規模商業運転案件や浮体式実証実験プロジェクトにおいてご用命いただいている実績もごさいます。

洋上風力発電分野において本邦はいまだ黎明期であり、サプライチェーンの構築もこれからとなります。今後3拠点から海外再保険マーケットにおける主要プレイヤーにコンタクトし、複数の提案・条件を受領し、その中から最も競争力のある条件をベースに保険を組成する、いわゆる再保険ドリープのアプローチを通じてお客様に最適な保険のご提供を実施して参る所存です。

プロジェクトの大規模化、新しい技術の導入等のトレンドに伴い、リスクの多様化、複雑化が顕著となっております。リスクマネジメントに関するお悩み事がございます。当社は何なりとご相談いただけますと幸いです。